

令和2年2月21日

吸収合併にかかる事前備置書面

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2番4号
株式会社神戸製鋼所
代表取締役社長 山口 真樹



当社は、当社を吸収合併存続会社、神鋼ファブテック株式会社（山口県下関市長府港町14-1）を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）を行うに際し、会社法第794条第1項および会社法施行規則第191条に基づき、本書面を当社本店に備置いたします。

- 1 吸収合併契約の内容に関する事項
別添1のとおりです。
- 2 合併対価の定め相当性に関する事項
別添2のとおりです。
- 3 吸収合併消滅会社の新株予約権の対価の定め相当性に関する事項
該当事項はありません。
- 4 吸収合併消滅会社に関する事項
 - (1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容
別添3のとおりです。
 - (2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等があるときは、当該臨時計算書類等の内容
該当事項はありません。
 - (3) 最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重要な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容
該当事項はありません。
- 5 吸収合併消滅会社（清算株式会社又は清算持分会社に限る。）の貸借対照表
該当事項はありません。

6 吸収合併存続会社に関する事項

(1) 最終事業年度の末日（最終事業年度がない場合、成立の日）後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容

該当事項はありません。

(2) 最終事業年度がないときは、成立の日における貸借対照表

該当事項はありません。

7 吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

別添 4 のとおりです。

8 本書面の備置開始日後に生じた変更に関する事項

変更が生じましたら、開示いたします。

以上

合併契約書

株式会社神戸製鋼所（以下、甲という）と神鋼ファブテック株式会社（以下、乙という）とは、合併に関し、次のとおり契約を締結する。

（合併の方法および当事者の表示）

第1条 甲および乙は吸収合併をして、甲は存続会社となり、乙は消滅会社となるものとし、その商号および住所は以下のとおりである。

吸収合併存続会社

商号：株式会社神戸製鋼所

住所：兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2-4

吸収合併消滅会社

商号：神鋼ファブテック株式会社

住所：山口県下関市長府港町14-1

（合併承認株主総会）

第2条 甲は会社法第796条第2項、乙は会社法第784条第1項の規定により、本契約につき株主総会の承認を得ないで合併する。

（吸収合併効力発生日）

第3条 吸収合併効力発生日は、2020年4月1日とする（以下「効力発生日」という。）。ただし、合併手続の進行に応じ必要があるときは、甲乙協議の上、これを変更することができる。

（合併に際して発行する株式およびその割当）

第4条 甲は、乙の発行済株式の全てを所有しているので、合併に際して甲の所有する乙の株式には株式割当をせず、新株の発行はしない。

（資本金および資本準備金の額）

第5条 甲は、乙の発行済全株式を保有しているので、本合併による資本金、資本準備金の増加はない。ただし、効力発生日における乙の資産及び負債の状況等により、甲乙協議の上、これを変更させることができる。

(会社財産の引継ぎ)

第6条 乙は、2020年4月1日における資産、負債および権利義務の一切を合併効力発生日において甲に引き継ぎ、甲はこれを承継する。

(善管注意義務)

第7条 甲および乙は、本契約締結後効力発生日に至るまで、善良な管理者の注意をもってそれぞれ業務の執行および財産の管理運営をなし、その財産および権利義務に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、あらかじめ甲乙協議して行うものとする。



(従業員の処遇)

第8条 甲は、乙の従業員を効力発生日において、甲の従業員として引き継ぐものとし、従業員に関する取扱いについては、甲乙協議の上、これを決定する。

(事情変更)

第9条 本契約の締結後の日から効力発生日に至るまでの間において、天災地変その他の事由により、甲または乙の財産もしくは経営状態に重大なる変動が生じたときは、甲乙協議して合併条件を変更し、もしくは本契約を解除することができる。

(合併契約の効力)

第10条 本契約は、法令に定める関係官庁の承認が得られないときは、その効力を失う。

(解散費用)

第11条 合併効力発生日以降において、乙の解散のために要する費用は、すべて甲の負担とする。



(協議事項)

第12条 本契約に定めるものの他、合併に関し必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲乙協議の上、これを決定する。

本契約の成立を証するため、本契約書2通を作成し、甲乙それぞれ記名捺印のうえ、それぞれ各1通を保有する。

2019年9月27日

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2-4

(甲) 株式会社神戸製鋼所

代表取締役社長 山口 貢



山口県下関市長府港町14-1

(乙) 神鋼ファブテック株式会社

代表取締役社長 二村 敏



令和2年2月21日

合併対価の相当性に関する事項

株式会社神戸製鋼所
代表取締役社長 山口 貢



神鋼ファブテック株式会社
代表取締役社長 二村 敏



株式会社神戸製鋼所（以下「神戸製鋼所」という）と神鋼ファブテック株式会社（以下「神鋼ファブテック」という）は合併にあたり、下記の通り決定いたしました。

存続会社である神戸製鋼所は、消滅会社である神鋼ファブテックの全株式を所有しているので、合併にあたり神鋼ファブテックの全株式を無償消却し、合併による新株式の発行は行いません。

以 上

決算報告書

(第 33 期)

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月 31日

神鋼ファブテック株式会社

山口県下関市長府港町14-1

神戸製鋼長府製造所内

2019年 3月 31日

神鋼ファブテック株式会社

(期首残高未確定) [決算仮締未実行]

(単位：円)

[illegible]

損 益 計 算 書

自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日

(当期累計期間)

神鋼ファブテック株式会社

(期首残高未確定) [決算仮締未実行]

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		2,892,481,671
【売上原価】		2,671,759,788
売上総利益		220,721,883
【販売費及び一般管理費】		86,730,019
営業利益		133,991,864
【営業外収益】		
営業外 受取利息	70,299	
営業外 受取配当金	1,000	
営業外 業務分担金	280,990,059	
営業外 その他営業外収益	1,151,356	
営業外収益合計		282,212,714
【営業外費用】		
営業外 支払利息	2,842	
営業外 出向者等労務費	390,331,451	
営業外 その他営業外費用	123,348	
営業外費用合計		390,457,641
経常利益		25,746,937
税金等調整前当期純利益		25,746,937
【法人税等】		
法人税・住民税及び事業税	△35,521,001	
法人税等調整額	91,000	
法人税等合計		△35,430,001
当期純利益		61,176,938

製造原価報告書

自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日

(当期累計期間)

神鋼ファブテック株式会社

(期首残高未確定) [決算仮締未実行]

(単位：円)

科 目	金 額	
【製造原価要素（労務費）】		
製造（労務費） 給料賃金	1,082,997,541	
製造（労務費） 従業員賞与手当引当金繰入額	392,581,509	
製造（労務費） 退職給付費用	25,739,909	
製造（労務費） 法定福利費	208,004,560	
製造原価要素（労務費） 合計		1,709,323,519
【製造原価要素（経費）】		
製造（経費） 厚生費	70,184,715	
製造（経費） 租税公課	274,600	
製造（経費） 減価償却費	543,284	
製造（経費） 賃借料	435,852	
製造（経費） 旅費交通費	20,906,519	
製造（経費） 交際費	1,076,118	
製造（経費） 支払業務分担金	337,431,456	
製造（経費） 業務委託料	107,194,118	
製造（経費） 修繕費	18,700	
製造（経費） 消耗品費	146,093	
製造（経費） 通信費	3,049,916	
製造（経費） 外注加工費	378,676,359	
製造（経費） 雑費	42,498,539	
製造原価要素（経費） 合計		962,436,269
製造原価要素合計		2,671,759,788

株主資本等変動計算書

自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日 (当期累計期間)

神鋼ファブテック株式会社

(期首残高未確定) [決算仮締未実行]
(単位：円)

	株主資本					純資産合計	
	資本金	利益剰余金			株主資本合計		
		利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
			繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	100,000,000	11,000,000	△4,381,910	6,618,090	106,618,090		
当期変動額							
当期純利益			61,176,938	61,176,938	61,176,938		
当期変動額合計	0	0	61,176,938	61,176,938	61,176,938		
当期末残高	100,000,000	11,000,000	56,795,028	67,795,028	167,795,028		

個別注記表

1.重要な会計方針に係る注記

- | | |
|----------------|---|
| (1)棚卸資産の評価方法 | 総平均法 |
| (2)固定資産の減価償却方法 | 定率法 |
| (3)引当金の計上基準 | |
| 従業員退職給与引当金 | 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額に基づき計上しております。 |
| 賞与引当金 | 従業員の一時金支給に備えるため、当事業年度末における一時金支給予想額に基づき計上しております。 |
| (4)消費税等の会計処理 | 税抜方式 |

2.有形固定資産の減価償却累計額	89,183 千円
------------------	-----------

3.支配株主との取引高

(株)神戸製鋼所 債権取引高合計	3,079,675 千円
(株)神戸製鋼所 債務取引高合計	560,012 千円

4.株主資本等変動計算書に関する注記

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| (1)当事業年度末における発行済み株式の種類及び株式数 | |
| 普通株式 | 2,000 株 |
| (2)当該事業年度中に行った剰余金の配当額 | |
| 配当金の金額 | 0 円 |
| (3)当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項 | |
| 平成31年6月19日開催の定時株主総会において次の通り決議する予定です。 | |
| 配当金の金額 | 42,596,000 円 |

5.1株あたりの情報に関する注記

1株当たり純資産額	83,898 円
1株当たり当期純利益	30,588 円

6.その他の注記

特になし

計算書類に係る附属明細書

[平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで]

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額
有形固定資産	建物	2,888	345		268	2,965
	建物付属設備	1,375		465	259	651
	機械装置	0				0
	車両運搬具	0				0
	工具器具備品	282		3	103	176
	構築物	51			30	21
	小額固定資産					
	計	4,596	345	468	660	3,813
無形固定資産	ソフトウェア	1,417	120		889	648
	電話加入権	290				290
	計	1,707	120	0	889	938
投資等	出資金	50				50
	長期前払費用	0				0
	長期繰延税金資産	44,200	67,237			111,437
	前払年金費用	55,771	2,099			57,870
	計	100,021	69,336			169,357

2. 引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	185,429	16,568		201,997
賞与引当金	193,339	9,093		184,246

3.販売費及び一般管理費の明細

[平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日]

神鋼ファブテック株式会社

(単位:円)

科目	金額	
給料	29,231,027	
賞与引当金繰入額	9,028,860	
法定福利費	9,534,800	
厚生費	13,497,189	
租税公課	1,024,713	
減価償却費	1,005,315	
賃借料	1,837,727	
旅費交通費	1,125,266	
交際費	1,310,965	
業務委託料	9,005,067	
修繕費	55,000	
保険料	2,223,408	
広告宣伝費	176,250	
消耗品費	773,245	
通信費	717,114	
その他	6,184,073	
販売費及び一般管理費合計		86,730,019

第 33 期 事業報告書

[平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで]

神鋼ファブテック株式会社

1.現況に関する事項

(1)事業の経過及びその成果並びに今後の課題

当社の事業は親会社である神戸製鋼所 長府製造所の生産動向に大半を依存しております。

売上は、製造所の受注が低迷する中で、製造部門の単価改善を行ったこと、一昨年に研究品保部門を取り込んだ効果が通期で寄与したことで、大幅に伸びました。

原価については、検査工程・検査部門の増員、強化に伴う人件費、処遇改善に伴う労務費が増加しました。

損益は、人件費の増加が収益を押し下げるといった影響が出てきましたが、徹底したコスト管理により、経常黒字を確保することができました。

業績概況としては、会社全体の売上高は、前年比+377百万円の2,892百万円と伸び、経常利益は前年比▲19百万円の+26百万円となりました。この結果、税引後当期純利益は+61百万円となりました。

各部門別の概要は次の通りです。

<製造部門>（冷間部門含む）

売上高は、前年比+209百万円の1,792百万円となりました。原価は前年比▲208百万円の1,718百万円、それに伴い経常利益は、前年比+1百万円の+74百万円となりました。

<スタッフ部門>

売上高その他収入は、前年比▲7百万円の373百万円となりました。原価は前年比▲27円の357百万円となりました。それに伴い、経常利益は前年比▲34百万円の+16百万円となりました。

<研究品保部門>

経常損益は、前年比+7百万円の+7百万円となりました。

<出向部門>

経常損益は、前年比+9百万円の+19百万円となりました。

<業務部門>

経常損益は前年比▲2百万円の▲90百万円となりました。

2019年度については、引き続き労務コストの管理を徹底することで、安定した経常黒字を目指します。

(2)直前四事業年度の財産及び損益の状況

区 分	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期
売上高 (百万円)	2,293	2,478	2,516	2,892
当期純利益 (百万円)	△18	35	29	26
1株当たり当期純利益 (円)	8,853	17,480	14,328	30,588
総資産 (百万円)	528	613	675	724
純資産 (百万円)	43	78	107	168

(3) 資金調達等についての概況

特記すべき事項はありません。

(4) 主要な事業内容

- ① アルミ押出製品及びその加工品の生産に係る業務
- ② 伸銅、軽合金及び鉄鋼製品の生産に係る補助的業務
- ③ 前各号に付帯する一切の業務

(5) 従業員の状況

(2019 年 3 月 31 日現在)

区分	男	女	計
従業員数 (人)	245	26	271
(前期末比増減)	(+6)	(+5)	(+11)
平均年齢 (歳)	34.7	36.7	34.9
平均勤続 (年)	10.4	6.5	10.0
出向者 (人)	44	1	45
(前期末比増減)	(+1)	(±0)	(+1)
その他 (人)	37	8	45
(前期末比増減)	(▲1)	(▲3)	(▲4)

(注)従業員数…正社員

その他…嘱託社員、アルバイト、派遣社員

(6) 事業所

本社 山口県下関市長府港町 14 番 1 号

(7) 親会社の状況

当社の親会社は、株式会社神戸製鋼所であり、同社は当社の株式を 2,000 株(出資比率 100%)保有しています。

(8) 主要な借入先及び借入額

借入金はありません。

2.株式に関する事項

- ①発行可能株式総数 6,400 株
 ②発行済み株式の総数 2,000 株
 ③株主数 1名
 ④株主

株主名	持株数	
株式会社 神戸製鋼所 神戸市中央区脇浜海岸通二丁目 2 番 4 号	株 2,000	% 100

3.会社役員に関する事項

(1)取締役及び監査役

地位	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長	二村 敏	株式会社 神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 長府製造所 アルミ押出工場長
取締役	濱口 康一	株式会社 神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 長府製造所 総務部長
取締役	中野 茂	株式会社 神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 鋳鍛事業・押出事業担当役員補佐 兼) アルミ・銅事業部門 理事
監査役	植木 隆之	株式会社 神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 長府製造所 経理室長

(2)取締役及び監査役に支払った報酬の額

報酬の支払はありません。

事業報告に係る附属明細書

[平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで]

1. 支配株主との取引の明細

(単位:千円)

	取引高	債権債務残高
売上高(売掛金)	2,863,239	294,014
未収入金 業務分担金	144,648	11,651
未収収益 その他	23,616	0
本社未収入金	47,787	47,787
未収入金 その他	385	28
債権合計	3,079,675	353,480
業務分担金(未払費用)	454,290	27,282
賃借料(未払費用)	1,406	127
旅費交通費(未払費用)	261	0
業務委託料(未払費用)	369	33
通信費(未払費用)	2,377	41
用役費等(未払費用)	101,309	10,866
法人税(本社未払金)	0	0
債務合計	560,012	38,349

(注) 用役費等…用役費、給食費、電話代、電気代、診療費、賃借料、その他

2. 取締役及び監査役の兼務の状況の明細

区分	氏名	兼務する会社名	兼務の内容	適用
取締役	濱口 康一	神鋼閥門総合サービス(株)	代表取締役社長	
	中野 茂	Kobelco Aluminum Products & Extrusions Inc. 小松工業(株)	取締役 取締役	
監査役	植木 隆之	神鋼メタルプロダクツ(株)	監査役	
		神鋼リードミック(株)	監査役	
		蘇州神鋼電子材料有限公司	監査役	
		神鋼閥門総合サービス(株)	監査役	

神鋼ファブテック株式会社
代表取締役社長 二村 敏殿

監査報告書

私、監査役は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第33期事業年度における取締役の職務の執行を監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査役の監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料等の調査を行い、当事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1)事業報告等の監査結果

- 一、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、取締役の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書の監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和元年5月10日

神鋼ファブテック株式会社 監査役

植木 隆之



令和2年2月21日

株式会社神戸製鋼所
代表取締役社長 山口 貢



債務履行の見込みがあることの理由書

当社は、神鋼ファブテック株式会社（以下「神鋼ファブテック」という）との間で、当社が存続会社、神鋼ファブテックが消滅会社となる吸収合併（以下「本件合併」という）を行います。以下の理由から、吸収合併存続会社である当社が負担すべき債務につき履行の見込みがあると判断いたします。

記

当社の平成31年3月31日現在の貸借対照表における資産の額及び負債の額は、それぞれ約1,640,872百万円及び約1,086,030百万円であります。本件合併により当社が神鋼ファブテックより承継する予定の資産及び負債の額は、それぞれ約724百万円及び約556百万円であります。

従って、本件合併後に見込まれる吸収合併存続会社の資産及び負債の額は、それぞれ約1,641,596百万円及び約1,086,586百万円であり、資産の額が負債の額を十分に上回ることが見込まれます。

また、本件合併後の吸収合併存続会社の収益状況見込等に鑑み、その負担すべき債務の履行に支障を来すような事態は、現在のところ認識又は予測されておりません。

従って、吸収合併存続会社の債務につき履行の見込みはあるものと判断致します。

以 上